

全国一般 闘争情報

91
2005.12.13

東京都千代田区
三崎町 3-5-6
造船会館 5F

TEL 03-3230-4071
FAX 03-3230-4360

「もんじゅ廃炉、最高裁判決は許さない! 12.10全国集会」開かれる 全国から800名、全国一般からは200名を超える仲間が参加



<もんじゅゲートに向けてデモ出発>

反戦・反核、もんじゅ廃炉へ

全国の仲間が敦賀の地に結集

12月10日、冬の到来を告げる雨まじりの寒風が吹き荒れるなか、『もんじゅを廃炉に! 12.10全国集会』が、福井県敦賀市で開催された。

「もんじゅ」は、1995年12月8日の運転から僅か3ヵ月でナトリウム火災事故を起こし運転中止となった。あれから、今日までナトリウムを固まらせないために使った費用は実に900億円。10年以上にわたり運転停止した原子炉を動かすという例は世界中の何処にもない。



<もんじゅ廃炉を訴えデモ行進>

最高裁判決」は違法であり 許せない!!
名古屋高裁金沢支部が出した『「もんじゅ」建設違法』の判決に対して、5月30日最高裁判所は、安全審査を違法・無効と認めた名古屋高裁の判決を破棄し、「見過ごすことの出来ないミスや欠陥はなく、許可は違法でない」との住民敗訴の不当な違法な判決を行った。

政府の原子力機構は、「もんじゅ設置許可」を合法とした反動判決を錦の御旗にして、もんじゅ運転再開へ急ピッチで改良工事を進めている。全国的に核燃料サイクルの確立・核開発を推し進める政府の一貫した政策が今回の判決である。

もんじゅのパイプや機械は劣化し、地震に弱いもんじゅの再開は、安全の保証もない住民無視の不当判決と改良工事再開に参加者の怒りはなお大きなものとなった。



<白木海岸での抗議集会>

全国一般独自集会で団結を一層強化

参加者は労働組合や市民団体ら全国から約800名が集まり、うち全国一般は産別として最大の200名が結集し、浦中央本部委員長を先頭に、地元福井、石川、富

山、長野、岐阜、大阪、滋賀、兵庫、広島、福岡の仲間が参加し、これまでにない広がりとなった。

当日は、白木海岸での全体集会、「もんじゅ」ゲート前での抗議行動や敦賀市「プラザ万象」会場前での全国一般独自集会など開催をした。

独自集会では、広島から原爆被災者の実態報告や各地本の決意表明がされ、福岡地本の解雇撤回闘争の報告に対しては、各ブロックからカンパと激励の言葉が交わされるなど、一層の団結と連帯が深められた。

さらには、石川・富山・大阪地本では参加した組合員とともに、作成したパンフをもとに、行きや帰りのバスのなかでは学習会や感想を出し合い交流を持ち、闘いの意義を確認しあってもきた。

今、集会に初めて参加した福岡の仲間からは、「こういう闘いが全国一般として取り組まれていることに感動した」「はじめて参加して、原発がこんなに危険である事を認識した。職場の仲間へ報告をして行く」との声や集会で「最高裁が法律を犯してまで反動判決を出したか」、今日の平和憲法改悪と核兵器・核武装に繋がっているのかが分かった」との感想が寄せられている。また、全国一般の組織だけでなく、多くの労働組合の結集が重要であることも感想として出されてきた。毎年の積み上げが、全国一般の組織的連帯と核廃絶の闘いの認識を高める大きな成果をあげている。

この闘いを職場・地域に伝え広げることに参加者全員で誓い合い、この日の闘いを終えた。



< 全国一般独自集会を開いて団結強化 >